

問題Ⅰ

各論の基礎的事項を問う。拐取罪は自由に対する罪とされるが、その自由の中味は何か、身体の安全を考慮する必要があるか、被害者が未成年者である場合に監護権も保護法益か、を簡潔に説明せよ。

問題Ⅱ

第二段落では、詐欺罪（刑法 246 条 1 項）によって得た財物の代金支払を恐喝によって免れる行為の評価を手懸りに、財物と代金請求権を独立して保護すべきかを問う。第三段落では、Aに殺人罪が成立すること、甲がXの保障人であることを確認した上で、Aの故意作為犯を阻止しなかった甲の正犯性を問う。